2012年7月2日(月)
上毛新聞
電子速報
上毛新聞
購読のお申し込みは
0120－808046
http://www.raijin.com/

小沢氏ら52人離党届

民主分裂、新党結成へ

比例北関東 三宅氏も提出

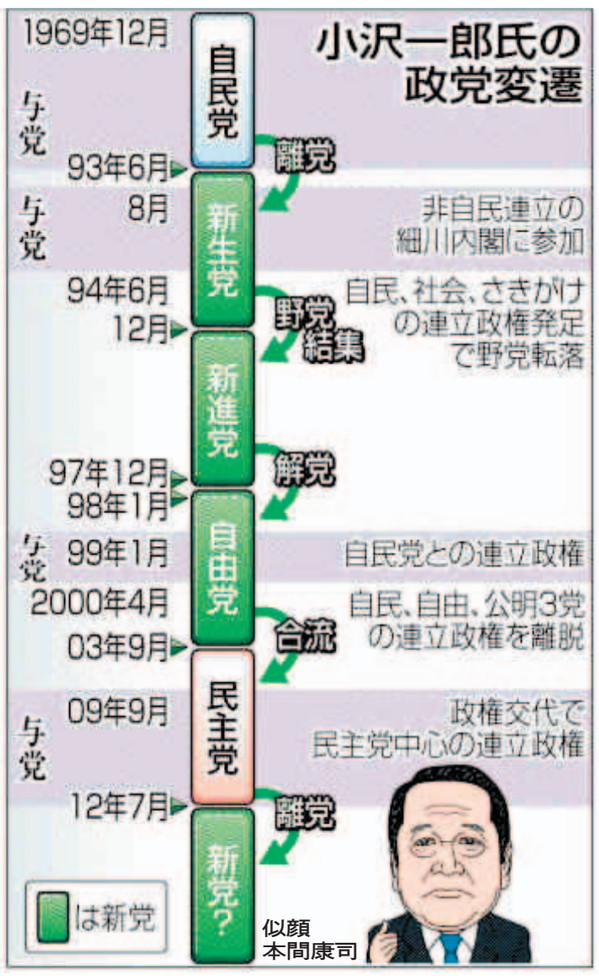
民主党の小沢一郎元代表は2日、野田佳彦首相が消費税増税法案の撤回要求に応じないため、支持グループの衆参両院議員51人とともに離党届を提出した。週内にも「反増税」を掲げた新党を結成する見通しで、民主党の内紛は分裂へと発展した。野田首相は参院での法案成立に全力を挙げるが、政権基盤の弱体化は避けられない。離党届の内訳は衆院議員が小沢氏を含め40人、参院議員が12人。本県衆院議員の三宅雪子氏＝比例北関東＝も提出した。

6月26日の衆院採決で反対票を投じた小沢氏は、28日の民主党の輿石東幹事長との会談で法案撤回を求めるとともに「参院でも強行的に採決して成立させるなら、民主党の枠を超えて、われわれの思いを直接国民に訴えねばならない」と離党を示唆。7月1日に地元・岩手県入りした際にも「増税だけをしゃにむに強行することは、国民への背信行為だ」と強調していた。

自民、公明両党は増税法案成立後の速やかな衆院解散を求めて攻勢を強める構え。だが、民主党内では選挙情勢への懸念から解散先送り論が大勢で、9月8日の延長国会会期末をにらんだ駆け引きの激化は必至だ。

増税法案の衆院採決で反対した民主党議員は57人で、うち小沢グループが46人を占めた。小沢氏は2003年の民主・自由両党合併で民主党入りし、09年衆院選では選挙対策を指揮して政権交代の立役者となった。

自宅を出る民主党の小沢元代表＝2日午前、東京都世田谷区



Copyright©2012 THE JOMO SHINBUN